

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
令和3年度 第1回理事会 議事録

- 1.開催日時 令和3年4月22日 午後7:00～午後8:50
- 2.開催場所 ZOOM 会議
- 3.理事総数 12名
- 4.出席者数 7名（書面表決書3名）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、小林均、森川貞夫、比嘉正樹、黒田伸 敬称略）
書面表決書（前河洋一、岩山海渡、鈴木良雄 敬称略）
- 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第1号議案 前回理事会（2月25日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったので承認されたものとする旨報告があった。
- 第2号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として宇佐美彰朗氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第3号議案 諸届けについて
保原氏より、4月～6月に実施予定の諸届けについて報告があった。
【東京法務局】
●理事長変更（重任）登記申請
4月12日(月)に登記申請済み
【東京都庁】
●役員変更届
新規役員の住民票入手次第届出予定（5月）
●事業報告書等提出
総会終了後提出予定（6月）
【税務署、都税事務所】
●収益事業確定申告
～5月末、申告および納税予定
- 第4号議案 令和2年度事業報告書等提出書類について
保原氏より、東京都に提出する「事業報告書」、「活動計算書」、「計算書類の注記」、「貸借対照表」、「財産目録」、「前事業年度の年間役員名簿」、「前事業年度末日における社員のうち10人以上の者の名簿」について説明があり、内容について審議した。
（1）事業報告書（資料2-1）
【講習会、セミナー、各種スポーツ教室の企画・運営とその開催に関する事業】
新型コロナウイルスの影響で大幅に開催回数、参加者が減少した。

● J S I E マラソン教室

開催回数：10回、延べ参加人数：29人

事業収入：39千円、事業経費：39千円、事業収益：±0千円

● J S I E マラソンセミナー

開催回数：0回、延べ参加人数：0人

事業収入：0千円、事業経費：0円、事業収益：±0千円

● 熟年ランニングスクール

開催回数：25回、延べ参加人数：107人

事業収入：232千円、事業経費：232千円、事業収益：±0千円

【講師、指導者の派遣に関する事業】

東京オリンピックマラソンの札幌開催に伴って北海道マラソンが中止になったため、「北海道のマラソン教室」はランナーズサポート北海道のランニング教室に講師を派遣する形になった。

また、浦安市富岡公民館主催「美走塾」は新型コロナウイルスの影響で中止となった。

● 北海道マラソン教室講師派遣

派遣回数：1回、参加人数：50人

事業収入：183千円、事業経費：178千円、事業収益：+5千円

【海外の国や州のみならず、各地域のスポーツクラブとの交流支援事業】

新型コロナウイルスの影響でメルボルンマラソンが中止となったので、現地での交流会は実施できなかった。

【海外派遣のための企画・運営事業】

参加者募集は実施し、参加申込者は6名あったが、大会が中止となったので参加はできなかった。

事業収入が昨年度対比で200万円以上だったので、新型コロナ対応の持続化給付金は満額の200万円が給付された。ただし、活動固定費を差し引いた収益金に対して税金を納付しなければいけないことになっている。

● メルボルンマラソン日本事務局

参加人数 0人

事業収入：2,083千円（含持続化給付金）、事業経費：498千円、

事業収益：+1,585千円

(2) 会計関係報告書（資料3～6）

事業収益は¥1,751,766となり、管理会計収益の¥14,524を加味すると令和2年度の経常収益は¥1,766,290となった。これから損益修正損¥8,319を差し引くと正味財産増減額は¥1,757,971となり、法人税¥161,300および前期繰越正味財産額¥534,369を加味すると年度末の正味財産額は¥2,131,040となった。

なお、収益修正損は未払金の消し込み漏れと思われるので、今後精査する。

(3) 役員名簿（資料 7）

令和 2 年 8 月 12 日に監事の中村宏氏が逝去されたので、その旨を記載した。

なお、役員変更届は提出済みである。

(4) 会員名簿（資料 8）

3 月に 3 名の方（磯野茂、山本正彦、進藤充 敬称略）が入会されたので、追記した。

なお、佐藤文宏氏については、年会費を継続して 3 年以上滞納されているので定款第 9 条 3 項に則り 4 月 1 日付で退会としたので、現時点での正会員数は 19 名となった。

今後、一部会計データを精査した後に最終案を次回理事会で確認していただき、承認されれば、各 1 部を東京都庁に対して 6 月中に提出する。

第 5 号議案

令和 3 年度事業計画・予算について

保原氏より事業計画案（資料 11）および収支予算（資料 12）について説明があり、内容について審議した。

基本的には昨年度事業の継続である。

ただし、東京での「J S I E エコノミカルランニング教室」は本年度も大幅に縮小せざるを得なくなる事が予想されるので、それを加味した予算としてある。

メルボルンマラソンについては、現地では新型コロナウイルスの感染抑制が十分に達成されており通常通り開催できそうなので、募集を開始して欲しい旨連絡があった。したがって、近日中に募集を開始する予定である。ただし、感染者数の多い国からの入国は規制されるため海外からの参加が認められない可能性が高いので、それを加味した予算としてある。

北海道マラソン教室については、オリンピックのマラソン開催に伴い北海道マラソンが中止になったので、昨年同様、5 月～10 月にランナーズサポート北海道のランニング教室を 12 回開催する事になったとのこと。

その中で、数回は特別講師を招いての講座を開催する予定とのこと、第 1 回の 5 月 9 日(日)には大阪学院大学の山内武氏の講義を予定しているとのこと。当協会からも要望があれば提案して欲しいとのことなので、昨年同様、宇佐美氏のフォームチェック & アドバイスをお願いしようかと考えている。その他、希望があれば保原宛連絡を頂きたい。

なお、新型コロナウイルスの影響で「浦安市美走塾」は本年も中止との連絡を受けている。

以上の状況を踏まえ、本年度は適宜対応していくこととなった。

第 6 号議案

その他

■のぼり旗、ボランティア用ビブスについて

持続化給付金を活用すべく、メルボルンマラソン用に「のぼり旗」と「ボランティア用ビブス」を購入した。

なお、「のぼり旗」は 4 枚発注したのに 10 枚納品されたので、国内イベント等でも活用して欲しい。(先方の誤納入なので 4 枚分のみ請求)

■ウガンダ選手情報

昨年、ウガンダのジョシュア・チェプテゲイが 10000m で 26:11:00、5000m で 12:35:36 世界新記録を樹立、また、トスカーナキャンプでトレーニング中のジェーコブ・キプリモが世界ハーフマラソン選手権で 58:40:00 の大会新記録で優勝した。

彼らが、東京オリンピックでメダルを獲得すれば、トスカーナでのジュニアトレーニングキャンプの実現につながるのではないかと期待している。

■HPの整備・活用について

- 保原氏より、HP (<http://jsie.org/index.html>) の整備活用について下記のような提案があった。

－山西理事長に”理事長あいさつ”の更新をお願いしたい。

－役員の皆さんに”役員紹介”への掲載文の作成をお願いしたい。

なお、写真があれば併せて頂きたい。

－新に「オピニオンコーナー（仮称）」を新設したい。

従来のように、シンポジウムやセミナーの開催が難しい情勢になっていることを踏まえ、皆さんが日頃考えていることを、J S I E の意見として発信していきたいので、是非、寄稿をお願いしたい。

テーマは当協会の趣旨に沿ったものであれば何でも構いませんので、保原宛送付頂ければ随時掲載していきたいと思います。

まず、とっかかりとして保原が新型コロナウイルスについて勉強した内容を、私が役員をしている某会からの依頼で昨年 12 月に寄稿した「新型コロナウイルスに打ち勝つための独り言～彼（新型コロナ）を知り、己（自分の状況）を知れば百戦殆からず～」を掲載させて頂きますので、よろしくをお願いします。

「オリンピックを開催するためには」、「市民レベルでのスポーツ大会を開催するためにはどうしたら良いか?」、「新型コロナ禍でのスポーツによる国際交流はどうあるべきか」、「スポーツコミュニケーションはリモートでできるのか?」などなど皆さんのご意見をお寄せください。

- 比嘉氏より、この件に関連して facebook、ブログなども取り込んでいったらどうかとの提案があったので、今後、具体案について詰めていくことになった。

■次回理事会について

今後は、毎月、今回のような ZOOM 会議をやって意見交換をしていく事が了承されたので、次回は 5 月 20 日(木) 19 時～21 時で実施することになった。

なお、議題については皆さんから事前に提案していただくことになった。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後 8 時 50 分議長は閉会を宣言し散会した。

■ウガンダ選手情報

昨年、ウガンダのジョシュア・チェプテゲイが 10000m で 26:11:00、5000m で 12:35:36 世界新記録を樹立、また、トスカーナキャンプでトレーニング中のジェーコブ・キプリモが世界ハーフマラソン選手権で 58:40:00 の大会新記録で優勝した。

彼らが、東京オリンピックでメダルを獲得すれば、トスカーナでのジュニアトレーニングキャンプの実現につながるのではないかと期待している。

■HPの整備・活用について

- 保原氏より、HP (<http://jsie.org/index.html>) の整備活用について下記のような提案があった。

－山西理事長に”理事長あいさつ”の更新をお願いしたい。

－役員の皆さんに”役員紹介”への掲載文の作成をお願いしたい。

なお、写真があれば併せて頂きたい。

－新に「オピニオンコーナー（仮称）」を新設したい。

従来のように、シンポジウムやセミナーの開催が難しい情勢になっていることを踏まえ、皆さんが日頃考えていることを、J S I E の意見として発信していきたいので、是非、寄稿をお願いしたい。

テーマは当協会の趣旨に沿ったものであれば何でも構いませんので、保原宛送付頂ければ随時掲載していきたいと思えます。

まず、とっかかりとして保原が新型コロナウイルスについて勉強した内容を、私が役員をしている某会からの依頼で昨年 12 月に寄稿した「新型コロナウイルスに打ち勝つための独り言～彼（新型コロナ）を知り、己（自分の状況）を知れば百戦殆からず～」を掲載させて頂きますので、よろしくをお願いします。

「オリンピックを開催するためには」、「市民レベルでのスポーツ大会を開催するためにはどうしたら良いか?」、「新型コロナ禍でのスポーツによる国際交流はどうあるべきか」、「スポーツコミュニケーションはリモートでできるのか?」などなど皆さんのご意見をお寄せください。

- 比嘉氏より、この件に関連して facebook、ブログなども取り込んでいったらどうかとの提案があったので、今後、具体案について詰めていくことになった。

■次回理事会について

今後は、毎月、今回のような ZOOM 会議をやって意見交換をしていく事が了承されたので、次回は 5 月 20 日(木) 19 時～21 時で実施することになった。


なお、議題については皆さんから事前に提案していただくことになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後 8 時 50 分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

令和3年4月22日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 山西哲郎 

議事録署名人 宇佐美 彰朗 

議事録署名人 保原幸夫 